

尾花毅 8string guitar
土井徳浩 clarinet
小林宏衣 vocal, piano

2025 08月09日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1 drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



小林宏衣

4歳からピアノを始め、洗足学園短期大学ジャズコースにて、ジャズピアノを今泉正明氏に師事。卒業後、ヴォーカルを伊藤君子氏に師事。歌詞のある楽曲はもちろん、声を楽器とする voice を生かした器楽曲を演奏するスタイルも特徴的である。様々な編成やコンセプトのユニット、グループのメンバーとして国内、海外でのライブや楽曲作品に参加。その他 企業CM、PV、映画、プラネタリウム作品など幅広く制作にも関わっている。

尾花毅

幼少期をドイツで過ごし、クラシックギターのレッスンを受け始める。学生時代には自作曲を演奏するプログレッシブ・ハードロックバンドで都内近郊のライブハウスを中心に活動。その後、偶然耳にしたブラジル音楽に衝撃を受け、再びクラシックギターを手にする。特に7弦ギターとの出会いを機に、古いサンバやショーロから深い影響を受けるようになり、さらに低音表現の幅を広げるべく8弦ギターも導入。現在は7弦・8弦ギターの特徴を生かし、クラシック、ジャズ、ブラジル音楽など幅広いジャンルに対応する独自のプレイスタイルを確立している。多くのユニットに参加するほか、来日するブラジル人ミュージシャンのサポートなど、年間を通して多数のライブに出演。また、演奏活動にとどまらず、自身が開発・製作するマイクロホンブランド「OBANA Microfone」を立ち上げ、音にこだわるミュージシャンから高い評価を得ている。使用している7弦・8弦ギターは、すべて実父の手による特注楽器であり、その楽器とともに唯一無二の音世界を追求し続けている。

土井徳浩

中高、吹奏楽部で故 浜田伸明氏にクラリネットの手ほどきを受ける。高校卒業後、クラシックのクラリネットを故 内山洋、ジャズ・サクソスを吉永寿の各氏に師事。1997年、奨学金を得てボストンのパーカー音楽大学に留学。クラリネットを Harry Skoler、サクソスを George Garzone、Frank Tiberi の各氏に師事。2002年帰国。2003年ノナカ・サクソフォン・コンクールに於いてジャズ部門第二位を受賞。2005年よりジャズ・クラリネット奏者としての活動を開始。2011年、初リーダー作「Amalthea」をD-Musicaよりリリース。ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、ミュージカル、テレビ番組やアーティストのレコーディング等、多岐にわたるシーンで活動中。